

日本鐵鋼協會第19回講演大會及第23回通常總會

第一日 4月3日 (日, 祭) 午前9時開會

會場 東京市神田區駿河臺二丁目五番地 日本醫師會館大講堂
(省線御茶の水驛又は水道橋驛下車徒歩約五分)

開會之辭

社団法人 日本鐵鋼協會々長 工學博士 水谷 叔彦君
講 演 午前之部

演 題	講 演 者	時 間
1) 熔鋼の熔解酸素に就て 其一 製鋼化學の反應平衡	日本製鋼所室蘭製作所 工學士 梅澤光三郎君	午前 9.10~9.35
2) 熔鋼の熔解酸素に就て 其二 酸素の計算法と酸素と鋼の缺點との關係	日本製鋼所室蘭製作所 工學士 梅澤光三郎君	9.40~10.05
— 10分休憩 —		
3) 鑄鋼用鑄物砂配合に對する基礎理論に就て (第2報)	大同電氣製鋼所熱田工場 工學士 吉田正夫君	10.20~10.45
4) 高速度鋼及附刃工具の二三に就て	吳海軍工廠製鋼實驗部 海軍技師 工學士 堀田秀次君	10.50~11.15

日本鐵鋼協會第23回通常總會 (午前11時20分開會)

會場 東京市神田區駿河臺二丁目五番地 日本醫師會館大講堂

開會之挨拶

社団法人 日本鐵鋼協會々長 工學博士 水谷 叔彦君

(1) 議 事

- イ、昭和十二年度會務報告
- ロ、昭和十二年度收支決算報告
- ハ、昭和十三年度收支豫算報告
- ニ、會長 理事並に評議員 (半數) 改選 (投票開票)

(2) 表 彰 式

- イ、服部賞牌並に同賞金贈呈式
- ロ、香村賞牌贈呈式
- ハ、俵賞金贈呈式

總 會 終 了

晝 食 會場内食堂に於て

講 演 午後之部

演 題	講 演 者	時 間
5) 熔鋼の鑄込溫度に關する研究 (第2報)	日本製鋼所室蘭製作所 工學士 原 於 菟 雄君	午後 1.00~1.25
6) 鋼材の鍛鍊と纖維狀組織並びに物理的性質の關係に就て (幻燈用)	日立製作所安來工場 理學博士 菊田多利男君 工學士 森 靖君	1.30~1.55
7) 鋼及鑄鐵の水素による脱炭現象に就て		2.00~2.25

芝浦製作所 技師 工學博士 中 村 素君
 〃 工學士 河 合 成 治君

— 10分休憩 —

- 8) 超々デュラルミンの「時季割れ」及び其防止法に就て 2.40~3.05
 東京帝國大學助教授 航空研究所々員 工學博士 石 田 四 郎君
 東京帝國大學航空研究所囑託 工學士 田 尻 秀 男君
- 6) 新熱電對に依る熔鋼溫度の測度 (第 2 報) 3.10~3.35
 吳海軍工廠製鋼部 海軍造兵中佐 工學博士 佐々川 清君
- 10) 鋼材と其纖維に就て (第 2 報) 3.40~4.05
 旭鋼器製作所相談役 陸軍少將 陸 路 録君

— 10分休憩 —

- 11) 貧鐵鑛を基礎とする製鐵及び製鋼 4.20~4.45
 旅順工科大學教授 工學博士 長 谷 川 熊 彦君
- 12) 鐵・マンガン・ニッケル・クロム・タングステン・
 水鉛等の貧鑛及廢鑛の利用開發に就て 4.50~5.15
 九州帝國大學名譽教授 工學博士 高 壯 吉君

第一日講演終了

晚 餐 會 午後 6 時

會 場 神田區駿河臺二丁目五番地 日本醫師會館大食堂
 會 費 金 參 圓 也

第二日 4 月 4 日 (月)

會 場 前日同所

- 13) 滲炭平衡及び諸炭酸鹽による滲炭促進作用に關する理論 午前 9.00~9.25
 理化學研究所飯高研究室 理學士 眞 殿 統君
- 14) 鐵力板の金屬組織と耐蝕性 (幻燈用) 6.30~9.55
 日本製鐵株式會社八幡製鐵所 技師 吉 田 清 三 郎君
- 15) 鋼の燒入に及ぼす各種元素の影響に就て (第 2 報) 10.00~10.25
 海軍技術研究所員 海軍造兵少佐 工學士 俵 信 次君

— 10分休憩 —

- 16) 磨 耗 の 研 究 10.40~11.05
 日立製作所 龜戶工場 小 坂 誠 市 郎君
- 17) 水素脆性の重要性に就て 11.10~11.35
 日本製鋼所室蘭製作所 太 田 雞 一君
- 18) 鐵の水素吸收に及ぼす諸元素の影響 午前 午後 11.40~0.05
 東北帝國大學助教授金屬材料研究所員 工學博士 福 島 政 治君
 住友金屬工業株式會社 理學士 三 井 政 三郎君
 東北帝國大學教授 金屬材料研究所員 理學博士 岩 瀬 慶 三君

書 食 會場内食堂に於て

講 演 午後之部

- 19) オーステナイト不銹鋼板の點熔接に就て (幻燈用) 午後 1.00~1.25

- 住友金屬工業株式會社伸銅所 研究部研究課技師 堀 愷 爾君
- 20) 鋼の低温脆性に就て 1.30~1.50
- 陸軍造兵廠大阪研究所々員 陸軍技師 工學士 茂 木 吉 治君
- 21) Ni 鋼及 Ni-Cr 鋼の加熱變態開始溫度に就て 1.55~2.20
- 日本特殊鋼株式會社 工學博士 永 澤 清君
- 10 分 休 憩 —
- 22) 鋼中 サンド の成因に就て (幻燈用) 2.35~3.00
- 日本製鋼所室蘭製作所 工學士 梅 澤 光 三 郎君
- 23) 鐵の滲炭現象の定量的研究 (第 2 報 改題) (幻燈用) 3.05~3.30
- 秋田鑛山専門學校教授 工學士 志 村 清 次 郎君
- 24) タングステンの耐酸化性に及ぼすクロムの影響に就て 3.35~4.00
- 東京帝國大學助教授航空研究所々員 工學博士 石 田 四 郎君
- 東京帝國大學航空研究所囑託 工學士 麻 田 宏君
- 10 分 休 憩 —
- 25) 鑿岩用中空鋼の繰返回轉曲げ試験 4.15~4.40
- 九州帝國大學教授 工學博士 井 上 克 巳君
- 26) 學振 19 小委第 3 號鐵及び鋼酸素分析方法 (水素還元法) に就て 4.45~5.10
- 日本學術振興會第 19 小委員會委員長
- 東京帝國大學名譽教授 工學博士 俵 國 一君

閉 會 之 辭

日本鐵鋼協會々長、工學博士 水 谷 叔 彦君

講 演 全 部 終 了

第 三 日 4 月 5 日

見 學

集合場所 上野驛正面玄關前廣場

出發時刻 池貝鑄造所行は貸切バスにて午前八時三十分出發

川口重工業指導所行は貸切バスにて午前九時四十分出發

- (1) 池貝鑄造所 (A) 班 (見學人員約 100 名) (所在 川口市元郷三ノ二二二〇)
 - 同所到着 午前九時二十分
 - 見學時間 午前九時三十分~午前十時二十分
 - 貸切バスにて川口重工業指導所に到る
- (2) 川口重工業指導所 (所在 川口市本町)
 - 同所到着 午前十時三十分
 - 見學時間 午前十時四十分~午前十一時
 - 貸切バスにて大日本麥酒會社に到る
- (3) 大日本麥酒會社川口工場 (所在 川口市横會根二本木二八四四)
 - 見學時間 午前十一時十分~正午
 - 晝食(同所) 正午~午後〇時五十分
 - 貸切バスにて川口製鐵會社に到る
- (4) 川口製鐵會社 (所在 川口市横會根三四〇)
 - 同所到着 午後一時
 - 見學時間 午後一時十分~午後一時四十分
 - 貸切バスにて名古屋鐵工場に到る
- (5) 名古屋鐵工場 (所在 川口市壽町二三四)
 - 同所到着 午後一時五十分
 - 見學時間 午後二時~午後二時三十分
 - (B) 班は貸切バスにて燃料研究所に到る
 - (B) 班以外の見學者は貸切バスにて上野驛前到着の上解散
- (6) 燃料研究所 (B) 班 (見學人員五十名) (所在 川口市壽町)
 - 見學時間 午後二時四十分~午後三時四十分
 - 貸切バスにて上野驛到着の上解散